

函館市医療・介護連携推進協議会
情報共有ツール作業部会 第8回会議

日時：平成30年10月18日（木）19:00～

場所：函館市医師会病院 5階講堂

【次第】

1 開 会

2 議 事

○報告事項

(1) プルダウン式、フェイスシート版サマリーについて (資料1)

(2) サマリー説明会等の開催状況について (資料2)

(3) モニタリングの結果について (資料3)

(4) ICT研修について

○協議事項

(1) はこだて医療・介護連携サマリー Q&A集について (資料4)

(2) 今後のスケジュールについて (資料5)

3 その他

・次回の部会日程について

4 閉 会

【配付資料】

1 追加分サマリー

2 はこだて医療・介護連携サマリー 各種説明会一覧

3 モニタリング集計

4 はこだて医療・介護連携サマリー Q&A集について

5 今後のスケジュール

函館市医療・介護連携推進協議会 情報共有ツール作業部会
第8回会議 出席者名簿

※★…部会長および副部会長 ○…幹事

(敬称略)

分野	所属団体	氏名	勤務先
医療	公益社団法人 函館市医師会	○佐藤 静	函館市医療・介護連携支援センター
	一般社団法人 函館歯科医師会	大内 英樹	大内歯科医院
	一般社団法人 函館薬剤師会	星野 志津代	(有)みすず調剤薬局
	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	岩田 明美	社会医療法人 函館博栄会 函館渡辺病院
	道南在宅ケア研究会	岡田 晋吾	医療法人社団 守一会 北美原クリニック
	函館地域医療連携実務者協議会	★部会長 亀谷 博志	社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院 総合医療支援センター 地域医療連携課
		熊倉 慎治	市立函館病院
一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	石井 義人	社会医療法人 高橋病院	
介護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	横山 文昭	指定居宅介護支援事業所 ハーモニー
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	★副部会長 松野 陽	函館市地域包括支援センター たかおか
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	吉荒 龍哉	介護老人保健施設 ケンゆのかわ
	道南訪問看護ステーション連絡協議会	保坂 明美	訪問看護ステーション フレンズ

はこだて医療・介護連携サマリー【基本ツール】

資料1

情報提供先 施設名称		御中	情報提供先 担当者名		様
---------------	--	----	---------------	--	---

● 基本情報等

氏名 (フリガナ)		生年・ 性別等		生 年 月 日 (満 歳)	生活 保護		障害等 認定	() () ()
現住所						電話番号		
居住	※居住階、施設名等を下記に記載 ()		※エレ ベーター	医療保険種類	その他 ()			
要介護度	認定有 効期間	~	年 月 日	障害高齢者日常生活自 立度(寝たきり度)		認知症高齢者日 常生活自立度		
同居家族	その他 ()							
連絡先①		続柄		電話		関係	()	
連絡先②		続柄		電話		関係	()	

● 医療情報等 *歯科医師等が摂食や口腔ケアに介入されている場合は、応用ツール④を作成下さい。

主病名	医療機関等名称	診療科名等	担当医	受診状況等	*特記
					<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>

*特記の付く場合は応用ツール⑩を作成して下さい。

● 身体・生活機能等

	評価日	年 月 日	()
*起居動作		移動	⇒ その他 ()
麻痺の状況		麻痺の部位	・ その他 ()
視力 [日常生活に支障]	()	・眼鏡	
聴力 [日常生活に支障]	()	・補聴器	
意思の伝達		失語症	
*認知症症状	その他 ()		
食事 摂取	*食形態	水分トロミ	
	*食動作	食事・水分制限	
口腔	*口腔ケア	義歯使用	
	排尿介助	PTトイレ使用	
排泄	排便介助	オムツ使用(パッド含む)	
	衣服の着脱	*服薬管理	
入浴(保清等)			
*特別な医療等	必要時は、右記の ()内に指定応用 ツールを作成下さい。		
在宅介護サービス等	・ その他 ()		
*介護上、特に注意すべき点等 ([有]の場合応用ツール⑩ 作成)	*介護・看取りに関する本人・家族の意向等 ([有]の場合応用ツール⑩ 作成)		

*起居動作[自立・見守り]以外は応用ツール⑩を、認知症症状[無]以外は応用ツール③を作成下さい。

*食形態・動作・口腔ケアの項目で[普通・自立]以外を選択した場合は応用ツール④を、服薬管理[自立]以外は応用ツール⑩を作成下さい。

本サマリーの記入者	所属名	
電話	FAX	
記入者	作成日	

*応用ツール以外の書式を添付する場合は応用ツール①を必ず作成下さい。

はこだて医療・介護連携サマリー 各種説明会一覧

H29.12.02 道南訪問看護ステーション連絡協議会

H30.03.16 函館市ホームヘルパー連絡協議会

H30.03.26 サマリー説明会

H30.03.27 サマリー説明会

H30.03.28 サマリー説明会

H30.04.11 函館市医師会病院院内説明会

H30.04.24 函館市医師会病院院内説明会

H30.05.08 国立病院機構函館病院院内説明会

H30.09.01 福島町 知内町 木古内町在宅医療介護連携協議会

H30.09.26 道南メディカ共催研修

H30.10.13 第 19 回日本クリニカルパス学会学術集会

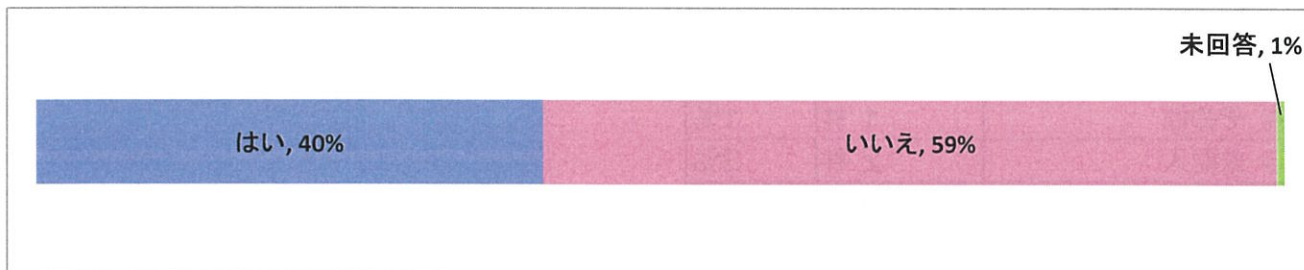
情報共有ツール作業部会 はこだて医療・介護連携サマリー モニタリング
 ○活用状況調査集計結果 H30.3.26~30.6.30分 (n=165)

《所属機関》

種別	配布件数 (a)	回収件数 (b)	種別ごと 回収率 (b) / (a)
① 入院医療機関	27件	17件	63%
② 居宅介護支援事業所	106件	57件	54%
③ 包括支援センター	10件	9件	90%
④ 訪問看護	21件	13件	62%
⑤ 短期入所生活介護	30件	8件	27%
⑥ 短期入所療養介護	10件	0件	0%
⑦ 特定施設入居者生活介護	14件	5件	36%
⑧ 小規模多機能型居宅介護	19件	7件	37%
⑨ 認知症対応型共同生活介護	48件	19件	40%
⑩ 地域密着型特定施設入居者生活介護	15件	8件	53%
⑪ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	5件	1件	20%
⑫ 看護小規模多機能型居宅介護	5件	1件	20%
⑬ 介護老人福祉施設	16件	7件	44%
⑭ 介護老人保健施設	8件	2件	25%
⑮ 介護医療院	1件	0件	0%
⑯ サ付・有料	73件	11件	15%
合計	408件	165件	

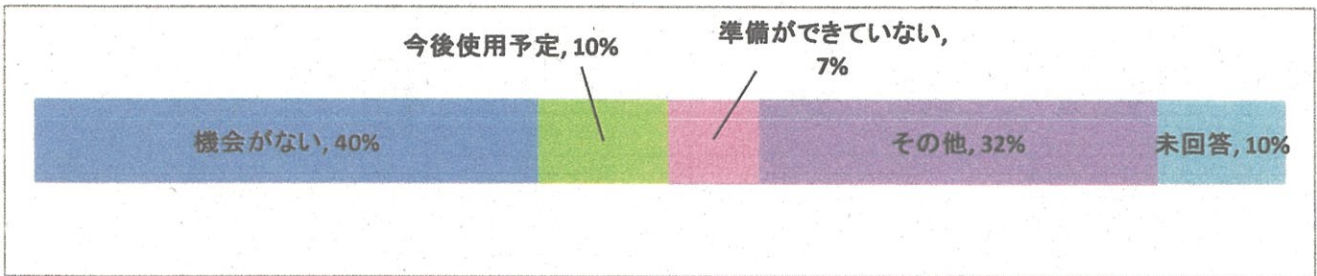
(1) 貴所属機関では、「はこだて医療・介護連携サマリー」(以下「サマリー」と表記)を作成し、情報共有に活用されたことがありますか。

項目	H30.3.26~30.6.30分	
	受取件数	割合
① はい	67件	40%
② いいえ	97件	59%
③ 未回答	1件	1%
合計	165件	



②いいえの理由。

項目	H30.3.26~30.6.30分	
	受取件数	割合
■活用していないとの回答のうち	97件	
① 機会がない	39件	40%
② 今後使用予定	10件	10%
③ 準備ができていない	7件	7%
④ その他	31件	32%
⑤ 未回答	10件	10%



- ・回答機関165件中の40%（67件）が使用していると回答。
- ・使用していないと回答した59%（97件）のうち、半数以上の57%（56件）が、『機会がない』『今後使用予定』『準備ができていない』という回答になっており、今後使用予定、もしくは使用に向けて前向きな様子が伺える。

(2) (1)で「①はい」とお答えされた方にお伺いします。

ア 正式運用開始後の3/26から6/30までの期間で、何件の「サマリー」を作成されましたか？

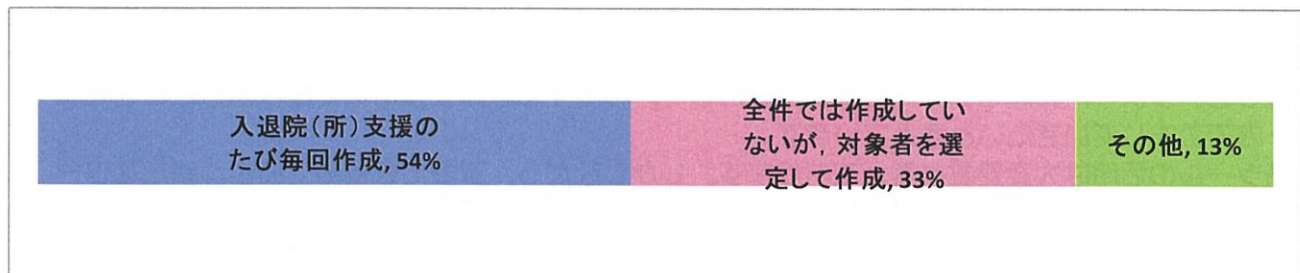
- ・最少1件から最大80件まで、各機関での作成件数が確認できている。
- ・1機関の平均活用件数は8件となっている。

イ どのような機会に作成し、活用していますか。（複数回答あり）

項目	H30.3.26~30.6.30分	
	受取件数	割合
① 入院（所）時	62件	90%
② 退院時	3件	4%
③ 転院時	1件	1%
④ その他	1件	1%
⑤ 未記入	2件	3%
合計	69件	

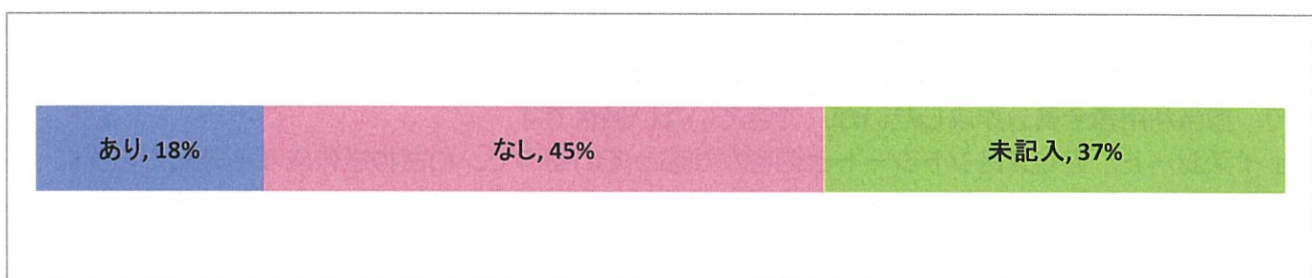
ウ どのくらいの頻度でお使いですか。（複数回答あり）

項目	H30.3.26~30.6.30分	
	受取件数	割合
① 入退院（所）支援のたび毎回作成	36 件	54%
② 全件では作成していないが、対象者を選定（または限定）して作成	22 件	33%
③ その他	9 件	13%
合計	67 件	



(3) 「サマリー」の内容について、見直しが必要な箇所があると思われますか。

項目	H30.3.26~30.6.30分	
	受取件数	割合
① あり	30 件	18%
② なし	74 件	45%
③ 未回答	61 件	37%
合計	165 件	



○見直し等の意見（抜粋）

- 施設や病院からの申し送りでサマリーが送付されてくることも多くなりわかりやすくて助かっています。
- すでに入院時情報連携加算取得のために内容を独自に変更しています（支援センター承諾済）ケアマネ→医療機関への提供のためには枚数も多く内容も複雑（医療従事者には理解できる内容かとは思いますが）
- コピーした書式にするためと思われるが、正確に入力ができず時間を要するため、効率よく入力できる書式があると活用が増えると考えます。
- 医療情報等の覧に発症年月日が記入できると良いと思います。（持参した際に尋ねられたことがありました）
- 病院側からのほしい情報が色々違うのかと思うので提示してもらえれば。例えば、1ヶ月前の自宅での様子とか、悪くなった状態なのか。
- 今回の調査とは別ですが、医療機関にサマリーを持参、提出していますが、一部の医療機関から情報が頂けないケース、退院の連絡がないケースなどがあります。連携の難しさを感じています。宜しくお願いいたします。

- 応用ツール⑩がすごく活用されてます。急性期病院からは使用されてません。（他同意見2件）
- 件数が少ないので、まだ意見できるまでにはいたっていません。
- 基本ツールでADL欄にチェックのみでなく、具体的な内容も記載できると良いと思いました。
- 基本ツール①と②で同じものを記入している。①枚目から②へひっばって欲しい。
- サービスの内容に定期巡回随時対応型がないので、その他に入れた。（訪問看護、訪問介護はあるが、定期巡回も一般的なサービスと思われる）
- 詳細な点は良いことだが、少し見づらい。一週間スケジュール、AM、PM、備考は無くてもよいと思いました。
- 退院後のサービス調整の連絡はあっても病院からうけとったことがないです。在宅発信が前提なのではないでしょうか？
- 見直しというより、私達センター内部の意識として、利用する意識を強化して取り組むことをセンター内で工夫していきたいと考えています。
- 共通ツールの活用は大変重要と考えております。しかしながら、皆多忙を極めており、新たなツール（サマリー）に転記する時間が取れません。包括支援センターであれば、必ず作成する「利用者基本情報」に応用ツールを添付する等検討が必要かと思われます。ご尽力いただいているのに申し訳ありません。
- 使用したことないので、わかりません。サマリーの内容を自前のツールに活用していきたいと思えます。
- 内容が細かいと思えます。
- 字や欄が小さい。（他同意見5件）
- ケアマネさんより受け取るだけの側ですが、記載が大変そう…といつも思います。大変な割に病棟看護師はあまりじっくりみていないので…。
- 電子カルテと重複した情報を再度作成することは、かなりの業務負担になります。共通ツールとしての利便性はわかるのですが、基本ツールを電カルの情報から落とすだけでも労力が課題だと思えます。
- 施設に送る際に、そこまでの医療情報があるのか？という声も院内で聞かれました。
- 部分的にしか使用していないので、使いこなせていない。基本ツール作成に時間がかかってしまうので、担当利用者全員分作成したいが、できていない現状です
- フェイスシート、アセスメントシートと内容がかぶっているため、わざわざ作成する時間がムダになっています。フェイス、アセスメントでは不足な部分だけでよいのではないかと思います。
- 作成に時間がかかってしまう。（他同意見2件）
- こちらから送る情報はほぼ、⑩の特記事項におとしこむので、他あまり活用することがない。フェイスシートやプラン内容をうつすだけになるなら、そのまま送った方が手間はかからず早くできるが…と思えます。
- 応用ツールの記載がむずかしく使用できていない。
- 食事形態、最終入浴、排便の記入欄がない。
- クリックの表示が入力時ジャマで時間かかる。
- 重複記載をなくする。
- ボリュームが多くて負担になる。（他同意見3件）
- 入院時に病棟から依頼され情報提供したが、退院時に病院からの情報提供はなかった。双方向の情報提供でないならば、自施設の様式を使わせてもらった方が事務作業が楽だしスムーズだと感じる。
- 書式ではなくて…なぜ使用されない事が多いのかの検証と対策が必要。
- 書式がずれていくので記入しにくい。（こちらのPCの問題かもしれませんが）
- 応用ツールは必要時に記載しているが、細かすぎて記入ができなかった箇所が多々あった。
- 最終排便、入浴日を⑩に記入しても、再確認の連絡がくるので、前回は提案したが、何とかしてほしい。
- 既往歴がわからない。運用が難しい。すでに別書式に打ち込まれ済みのものを入れなおさなければならず、非常に手間。

はこだて医療・介護連携サマリー Q&A集

Q1.

日付入力が西暦だと入力しづらいので、元号年度の入力にしていただけると助かります。

A:

基本ツールは、PC入力の場合[0000/00/00]、[S00.00.00]のいずれの方式で入力しても、生年月日であれば和暦に、作成日であれば西暦に自動で入力されます。スラッシュ[/]、ピリオド[.]、どちらも同様に入力が可能です。

(参考：はこだて医療・介護連携サマリー作成マニュアル)

Q2.

応用ツールの作成年月日を和暦ではなく基本ツールと同じ西暦にしてはどうか。

A:

応用ツールは元号変更を考慮して、あえて元号を入れておりません。必要に応じて元号を入力して頂いたり、西暦で入力して、ご使用いただければと思います。

Q3.

応用ツール^⑱の記載時、改行ができず、ただ文章を書く状態になってしまいます。

A:

改行する場合は、Altキーを押しながらEnterキーを押していただくと改行できます。

(参考：はこだて医療・介護連携サマリー 応用ツール^⑱ 特記事項 コメント)

Q4.

- ・全体として居宅の基本情報として併用できれば手軽に利用できると思う。
- ・在宅での本人の意向、家族の意向を勝手に欄を設けてつけたしているので、最初からあればADL・IADLの用紙を足せばケアマネが作る基準を満たせると思う。

A:

H30年7月26日に『フェイスシート版サマリー』を当センターホームページに掲載しておりますので、ご活用頂ければと思います。

(参考：当センターホームページ「サマリーについて」H30年7月26日掲載)

Q5.

ジェノグラムに他のワードからコピー挿入できれば、又は参考バージョンがあれば良いと感じた。

A :

参考となる図は各種のサマリーのジェノグラム欄に追加しておりますので、ご活用ください。

また、ジェノグラム作成フリーソフト等を使用して、図として貼り付ける方法をとられている方もいるようです。

Q6.

応用ツール⑩について…入院の利用者様に利用時①最終バイタル②最終排便③特記事項について、項目が無かったので追加記載しました。多くの疾患をかかえている利用者様の場合、応用ツールの特定がしにくい場合があります、⑩に自由記載することのほうが多い。

A :

できるだけ簡略化しているため、全ての項目を網羅できないことをご理解いただければと思います。

Q7.

できるだけ時間をかけたくないのに服薬情報は薬情をコピーしたいが、「応用ツール①付帯情報管理」の「⑤その他文書名」にチェックして入れていいかどうか？

A :

その通りになります。「応用ツール①付帯情報管理」の「⑤その他」にチェック入れていただき、「文書名⇒」に「薬情」等と記載し、その他必要な情報がありましたら、「備考⇒」欄にご記載ください。

Q7.

応用ツール⑩「膀胱留置カテーテル管理」の記載方法について、「5, 使用器具」「6, 消毒薬・衛生材料」について退院時に持たせる訳ではないが、何を記載したらいいのか。

A :

現在の状況を記載してください。その際に交換用セットに含まれている物と重複しないようご注意ください。

Q8.

入院中の患者さんが、今後介護付き有料老人ホームへ退院予定であるが、介護施設側から退院時に「はこだて医療・介護連携サマリー」で情報をもらおうと加算がとれると言われた。

①介護付き有料老人ホームでとれる加算はあるのか

②その際の情報提供は、はこだて医療・介護連携サマリーを使わなくてはいけないのか。

A：

①平成30年度の介護報酬改定で、特定施設入居者生活介護施設でも退院・退所時連携加算が算定できる事となっています。

②サマリーの使用指定はしておりません。内容に関しては、厚労省から必須要件は出されていませんが、参考例としては書面で示されています。しかし、必ずしもこの様式で情報提供をする必要がある訳ではなく、病院の様式でも構いません。

情報共有ツール『はこだて医療・介護連携サマリー』

○ 今後のスケジュールについて

(1) 次回モニタリング及びアセスメントの実施

- ・平成31年1月に平成30年7月～12月の6ヶ月間について実施
- ・情報共有ツール作業部会にてアセスメント実施

(2) モニタリングの継続

- ・上記、モニタリング及びアセスメント実施後も継続して6ヶ月ごとに実施を予定

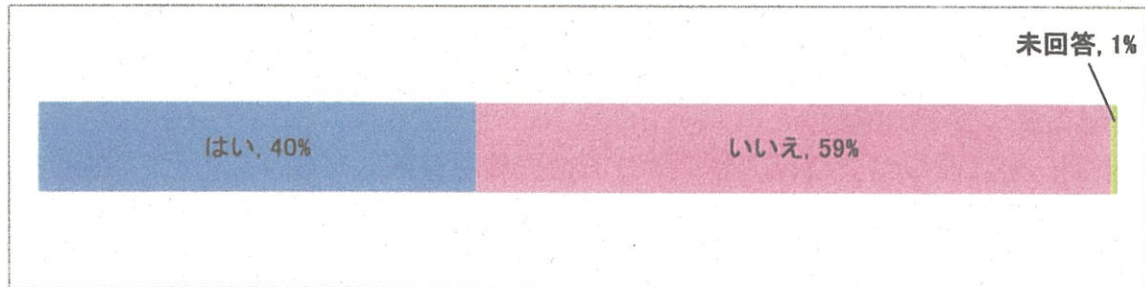
(3) モニタリング等の公表について

- ・Q&A集と共にモニタリング結果をセンターホームページにて公開を予定

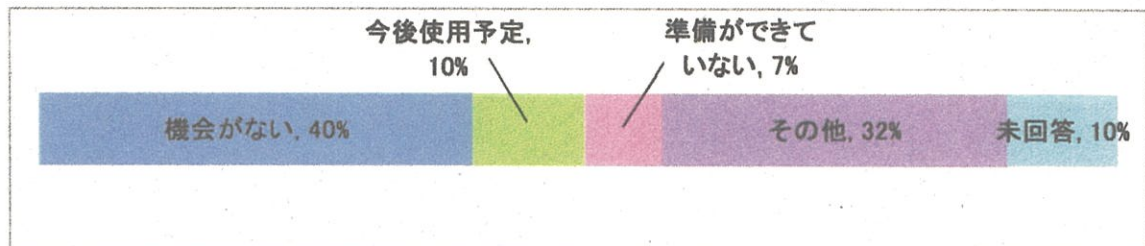
参考（ホームページ掲載用モニタリング結果）

情報共有ツール作業部会 はこだて医療・介護連携サマリー モニタリング
○活用状況調査集計結果 H30.3.26~30.6.30分（n=165）

○貴所属機関では、「はこだて医療・介護連携サマリー」（以下「サマリー」と表記）を作成し、情報共有に活用されたことがありますか。



○上記いいえの理由。



- ・回答機関165件中の40%（67件）が使用していると回答。
- ・使用していないと回答した59%（97件）のうち、半数以上の57%（56件）が、『機会がない』『今後使用予定』『準備ができていない』という回答になっており、今後使用予定、もしくは使用に向けて前向きな様子が伺える。

○「サマリー」の内容について、見直しが必要な箇所があると思われますか。

